

小牧南小学校改築事業

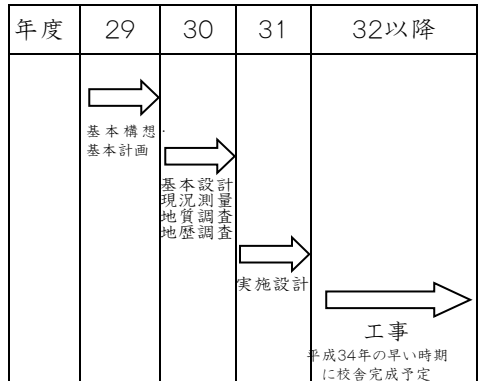
教育委員会事務局 教育総務課

- 1 事業年度 平成29年度～33年度
- 2 予算額 155,624千円
- 3 目的及び効果 昭和36年の竣工から55年以上が経過し、建物が老朽化しています。また、竣工以降、増築を繰り返し、教室等の配置が複雑になっています。さらに、名鉄小牧線の利便性の向上や周辺の土地区画整理事業の進展により、児童数が増加したことで、教室数が不足し、一時的な措置として、仮設校舎を建設し対応しています。これらの課題を解消し、安心して学ぶことのできる学習環境と快適に過ごせる施設環境を提供するため、小牧南小学校を改築します。

- 4 事業概要 平成31年度は、改築のための実施設計を行います。



現在の小牧南小学校



改築スケジュール

新規 小・中学校特別教室空調機設置事業

教育委員会事務局 教育総務課

1 予算額 12,400千円

2 目的及び効果 音楽室、理科室、図工室、美術室、家庭科室、技術室などの特別教室は、教科の特性上、窓を閉めて授業を行うことが多いため、夏季に室内が大変暑くなり、児童生徒の身体への負担が大きい状況です。

そのため、1年を通じて快適な学習環境となるように、特別教室に空調機を設置します。

3 事業概要 平成31年度は、中学校の特別教室への空調機設置のための設計を行います。



新規

ICT教育推進事業

教育委員会事務局 教育総務課
学校教育課

1 予算額 66,108千円

2 目的及び効果

ICT(情報通信技術)が広く利用されている社会に子どもたちが適応していくために、早くから情報活用能力を身につける必要があります。一つのツールとしてタブレット型PCなどのICT機器を活用することにより、「分かりやすい授業」を実践します。情報を収集する力、情報を読み解く力、論理的・創造的に思考する力などを身に付けた「時代を切り拓く子ども」の育成を目指します。

平成31年度から2小学校・2中学校(味岡小・大城小・味岡中・光ヶ丘中)をICT教育のモデル校とし、ICTを活用した「分かりやすい授業」の実践検証を行います。

3 事業概要

○児童生徒用タブレット型PC・収納保管庫借上げ(モデル校)

モデル校に、3クラスに1クラス分程度のタブレット型PCを整備し、1人1台のタブレット型PCを使用できる学習環境を整備します。

タブレット型PC台数(収納保管庫台数)

味岡小280台(7台)、大城小137台(4台)

味岡中290台(8台)、光ヶ丘中85台(3台)



○ICT活用支援委託(ICT支援員)

ICT機器に見識を持つ支援員が、各学校を巡回し、機器の操作に対する助言や活用事例の紹介等を行い、ICT教育の推進を支援します。

拡充

情報システム管理事業(中学校)

教育委員会事務局 教育総務課

1 予算額 79,273千円

2 目的及び効果 ICT環境を整備し、授業でICTを効率的・効果的に活用します。

大型提示用プロジェクターをデジタル教科書、タブレット型PC、書画カメラと連携して、教材を大きく映し、生徒に分かりやすく教えることにより、生徒の学習意欲を高め、学習の理解を深めることができます。

3 事業概要

○タブレット型PC・収納保管庫

全ての普通教室に1台、特別教室(各校8~12室)に1台

○生徒用タブレット型PC・収納保管庫

各校に10台(但し、篠岡中学校は9台)

(収納保管庫(10台用)は、各校に1台)

○大型提示用プロジェクター(電子黒板機能付き)及びスクリーン

全ての普通教室に1台、特別教室(各校8~12室)に1台



新規

学校集団アセスメント調査委託事業

教育委員会事務局 学校教育課

- 1 予算額 5,243千円
- 2 目的及び事業 不登校対策・いじめの早期発見やより良い学級づくりに活用します。
- 3 事業概要 小学校2～6年生、中学校全学年を対象

●学校集団アセスメント調査とは

学校生活における児童生徒ひとりひとりの意欲や満足度および学級集団の状況を質問紙によって把握し、結果を分析します。

結果をもとに児童生徒の指導方法や学級運営の方向性を確認することができます。



拡充 私立高等学校等授業料助成事業

教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 19,900千円

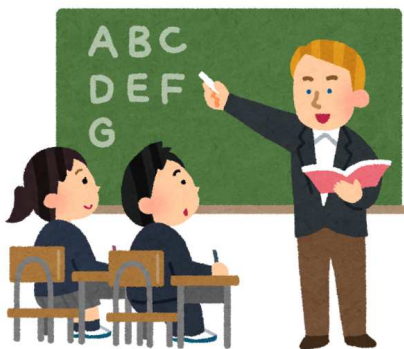
2 目的及び効果 現在行っている私立高等学校等授業料助成事業を拡充することにより、授業料に対する保護者の経済的負担を軽減します。

3 事業概要 収入の状況に応じて国・県が実施する授業料補助に対して、上乘せして助成を行います。

・県の補助区分

県民税所得割額と市民税所得割額の合算額等で区分されています。

| 県の補助区分 | 市の補助限度額 |
|--------|---------|
| 甲Ⅰ・甲Ⅱ | 40,000円 |
| 乙Ⅰ | 32,000円 |
| 乙Ⅱ | 30,000円 |



子ども・子育て支援事業計画策定事業

子ども未来部 子ども政策課

- 1 事業年度 平成30年度～31年度
- 2 予算額 6,588千円
- 3 目的及び効果 子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画を策定します。

4 事業概要

平成27～31年度

・現計画期間

平成30年度

・新計画策定に向けた市民アンケート

平成31年度

- ・現計画の評価・検証
- ・子ども・子育て会議の開催
- ・庁内組織による計画(案)の策定
- ・パブリックコメントの実施



拡充

夢を育む環境の創出事業

1 予算額 36,174千円

市長公室 広報広聴課
こども未来部 こども政策課
教育委員会事務局 学校教育課
生涯学習課
スポーツ推進課

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

こどもレポーター事業 260千円

小学生の「こどもレポーター」を公募し、夏休みに市内での取材及び紙面編集を体験することにより、市政への関心を高める機会とします。こどもレポーターの記事は、広報こまきへの掲載の他、市内全小学校に壁新聞として掲示します。

【対象】小学校5・6年生 【定員】10人程度

広報広聴課

こども広報作成事業 2,100千円

市内小学4年生から中学生を対象に、こども向け広報紙を年2回(夏・冬)作成し、学校を通じて配布します。こどもたちの「こまきへの愛着」を育むとともに、子育て世代に広報こまきを読むきっかけづくりを図ります。

広報広聴課

まちづくりスクールミーティング 39千円

中学生と高校生の参加により実施し、グループワーク等を通して主体的に「まちづくり」について考えるきっかけとし、社会性を育みます。

広報広聴課

ひとり親家庭等支援事業 12,900千円

ひとり親家庭等のこどもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親と子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

こども政策課

※ひとり親家庭等支援事業のイメージ

ひとり親家庭等支援事業

ひとり親家庭等入学支援金 給付事業

ひとり親家庭等のこどもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。



ひとり親家庭高等学校卒業 程度認定試験合格支援事業

高校を卒業していないひとり親家庭の父母や、20歳未満の児童を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。



拡充 学習支援事業「駒来塾」 4,441千円

経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教室】 東部地区（篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中）

北里地区（北里中・小牧西中）

味岡地区（味岡中・岩崎中）

小牧地区（小牧中・応時中）※平成31年8月予定

【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

※北里地区・味岡地区の夏休み5日間は

木曜日午後2時30分～4時

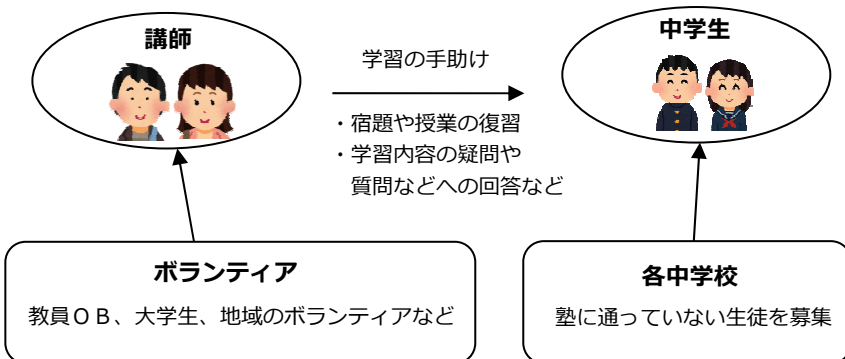
【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、味岡市民センター、ふれあいセンター

【参加費】 無料

こども政策課

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



プログラミング講座 160千円

デジタルのモノづくりを楽しく学ぶことができる、こどものためのプログラミング講座を開催します。

【対象】 小学校4・5・6年生 【定員】 20人

こども政策課

市内産業見学会開催事業 250千円

夏休みに市内企業見学や、職業体験を行います。1グループ20人、2コース程度(最大3コース)を実施します。

【対象】 小学校5・6年生、中学生

こども政策課

夢にチャレンジ助成金支給事業 1,948千円

自分の夢を実現するための計画を募集し、優秀者に助成金を支給します。

【対象】 16歳以上25歳以下の個人、団体、高校・大学等に在籍している方。本人もしくは、保護者が1年以上住民登録など。

【助成額】 上限30万円

【チャレンジ内容の例】 海外語学研修、体験研修、ボランティア、インターンシップなど

こども政策課

大学生等海外留学奨学金支給事業 3,743千円

海外の大学に、3ヶ月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】 25歳以下。国内の大学等に在学し、語学力が基準を満たす者。本人もしくは、保護者が1年以上住民登録など。

【助成額】 留学先の国・地域に応じて、12ヶ月を上限として、月額3～5万円を支給

こども政策課

こども夢サポーター制度 43千円

市と共にこどもの夢を応援していただける団体・企業に「こども夢サポーター」として登録していただき、「コマキッズドリームプロジェクト」を支援していただきます。

【活動内容】 「こども」をキーワードとした事業・イベントの開催・応援
「こども」に関わる地域貢献活動の実施
「こども」が活躍できる機会・場の提供

【登録団体数】 65団体(平成31年1月現在)

こども政策課

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 6,790千円

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施し、前半は体を動かす「ゲームの時間」と、後半は「夢先生」の体験談を語る「トークの時間」とし、こどもたちの精神的な成長を図ります。

【対象】 小学校5年生

学校教育課

こども夢・チャレンジ文化事業 2,000千円

【子ども向け事業】

小牧山史跡公園を中心とした伝承遊びや親子ラリーの開催など、体験を通して故郷に愛着を持つ機会を提供します。

【舞台芸術祭開催事業】

演劇やミュージカルなど様々なジャンルで活動する市民団体が主体となり、こどもや若い世代に発表の機会をつくります。

生涯学習課

こども夢・チャレンジカップU-12(小牧市長杯)開催事業 1,500千円

海外クラブチームなどによる国内ジュニアサッカースクールの交流大会を、5月に小牧市スポーツ公園サッカーグラウンドで開催します。

スポーツ推進課



拡充

子育て世代包括支援センター運営事業

こども未来部 こども政策課

1 予算額 178,104千円

2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要 子育て世代包括支援センターでは、こども・子育てに関するあらゆる相談(妊娠、子育て、発達、ひとり親、児童虐待など)を受け付けたり、子育て中の保護者のリフレッシュのため、一時的に乳幼児を預かるなどして、子育て世帯を支援します。

① 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 152,360千円

妊婦と胎児、産婦と乳児の健康診査及び新生児聴覚検査の費用を助成することで、疾病の早期発見・早期治療を図るとともに健康意識を高め、よりよい出産・育児のスタートにつなげます。

- ・産婦健康診査事業
- ・新生児聴覚検査事業
- ・妊婦健康診査事業
- ・妊婦個別歯科健康診査事業
- ・乳児健康診査事業



② 利用者支援事業《母子保健型》 6,821千円

1)利用者支援事業 330千円

妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、関係機関と協力してサポートプランの作成やサービスの調整などを行います。

2) **新規**セカンドブック事業 6,491千円

子育て世代包括支援センター及び市内各児童館において、1歳の誕生日の節目にサポートプランを見直して、必要な情報提供等の支援を行い、保護者の育児不安を取り除きます。また、絵本をプレゼントすることで、読み聞かせを通して、親と子の愛着形成を促進し、親と子の自己肯定感を育みます。

③ 産後ケア事業 1,200千円

産後うつ対策として、産後に心身の不調又は育児不安があり、家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、安心して子育てができるよう、市内産婦人科医療機関において、心身のケア(母乳ケア含む)や育児のサポートを行います。

④ 産前産後ヘルパー派遣事業 1,700千円

妊娠中から産後6ヶ月(多胎の場合は12ヶ月)にかけて、夫や祖父母など周りからの子育て支援が見込めない家庭にヘルパーを派遣して家事支援を行います。

・利用者負担:1時間あたり700円 生活保護世帯は免除
市県民税非課税世帯は350円/時間

⑤ 一時預かり事業 16,023千円

子育て中の保護者のリフレッシュのため、生後6ヶ月から就学前の乳幼児を子育て世代包括支援センター内において3時間まで預かります。

・利用者負担:3時間まで2,100円 生活保護世帯
市県民税非課税世帯は免除

児童クラブ施設整備事業

こども未来部 こども政策課

- 1 予算額 11,065千円
- 2 目的及び効果 児童が安全に放課後を過ごす場所を充実させるため、手狭となっている小牧原児童クラブの施設整備を行います。
- 3 事業概要 小牧原小学校北棟の図工室を改修し、放課後は児童クラブとして使用できるように環境整備を行います。

